学術調査「テレワークによる社内コミュニケーションの変化」結果（速報）発表会のご報告

2020年10月2日（金）13時～14時

働く人への心理支援開発研究センターは、2020年8月～9月に実施し4343人の有効回答を得た学術調査『テレワークによる社内コミュニケーションの変化』の結果（速報）発表会を、10月2日（金）に報道関係者、協力企業関係者向けに開催しました。
発表会では、「オンライン会議の課題、工夫、満足度」「テレコミュニケーションの利点・問題点、工夫、満足度」「テレワーク導入による職場や仕事上の変化」に関する調査結果を報告し、結果を踏まえた提言をしました。

最先端の「知」を、最前線に。
働く人への心理支援
開発研究センター
［T-One ラボ］

発表風景

▲上段左から：岡田昌毅、御手洗尚樹、松井　豊、　▲下段左から：藤　桂、福林　直、原　恵子、中村准子

1. センター長ご挨拶
岡田昌毅
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター長・人間系教授

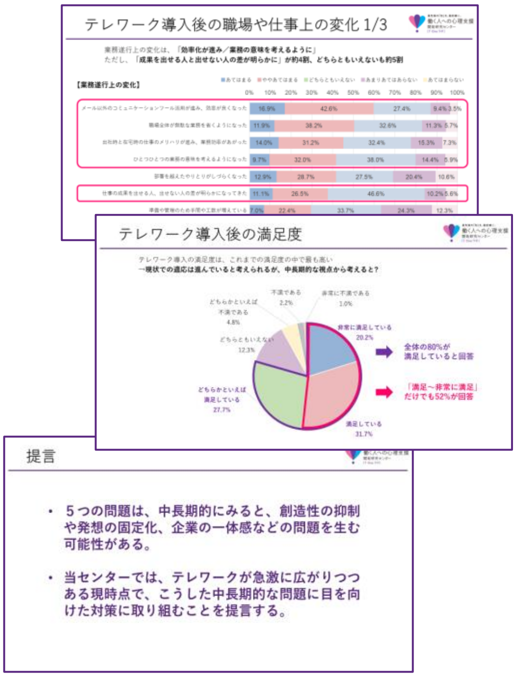
2. 研究の背景
御手洗尚樹
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター客員教授

3. 調査の概要・結果・提言
藤　桂
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター・人間系准教授
福林　直
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター客員研究員
原　恵子
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター准教授

4 .質疑応答（報道関係者向け）

全体統括
松井　豊
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター主幹研究員・名誉教授

司会進行
中村准子
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター研究員



©筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター